

アトサヌプリの火山活動解説資料（平成24年6月）

札幌管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成19年12月1日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気などの表面現象の状況（図1-①②、図2～7）

F 1 噴気孔群及びF 2 噴気孔群の噴気の高さは火口上概ね100m以下で、噴気活動は低調に経過しました。

13日に現地調査を実施しました。アトサヌプリ溶岩ドームでは噴気活動が続いており、点在する複数の噴気孔から白色の噴気が約10m上がっていました。それぞれの噴気温度は約100～120℃で前回（2008年7月：約100～120℃）と比較して変化はありませんでした。赤外熱映像装置¹⁾による観測でも、地熱域の状況に特段の変化はありませんでした。

・地震及び微動の発生状況（図1-③）

火山性地震は少なく、地震活動は低調に経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図1-④）

GPS連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

- 1) 赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を検知して温度や温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

※ 資料は気象庁のほか、国土地理院のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平23情使、第467号）。また、同院発行の『数値地図25000（地図画像）』を複製しています（承認番号 平23情複、第492号）。

次回の火山活動解説資料（平成24年7月分）は平成24年8月7日に発表する予定です。

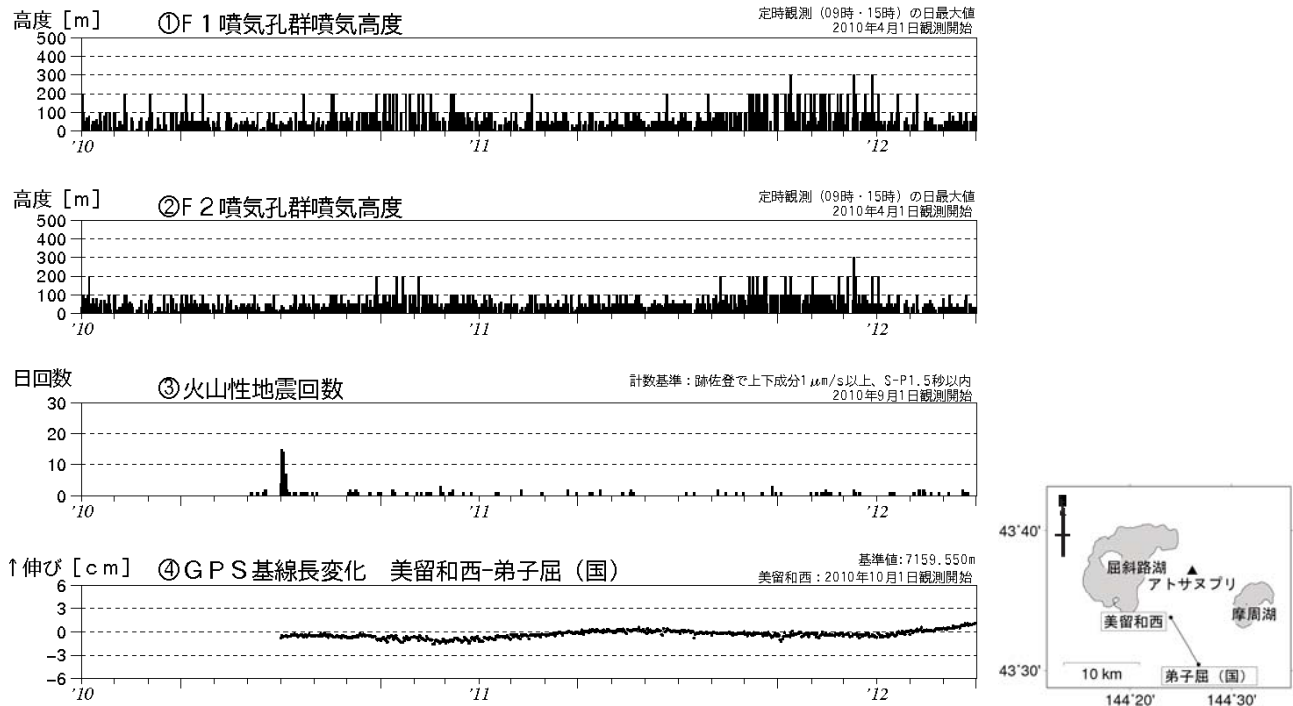


図 1※ アトサヌプリ 火山活動経過図 (2010年4月～2012年6月)、GPS連続観測点配置図
 ・④のGPS基線は右図に対応しています
 ・(国)：国土地理院

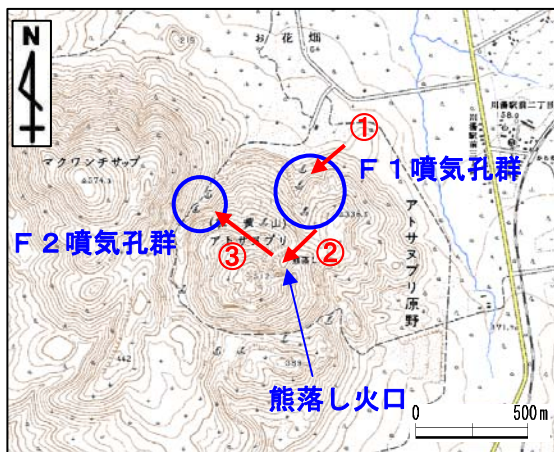


図 2 アトサヌプリ 周辺図と赤外熱映像及び写真の撮影方向 (矢印)



図 3 アトサヌプリ F 1 噴気孔群の状況 (図 2 の①より撮影)

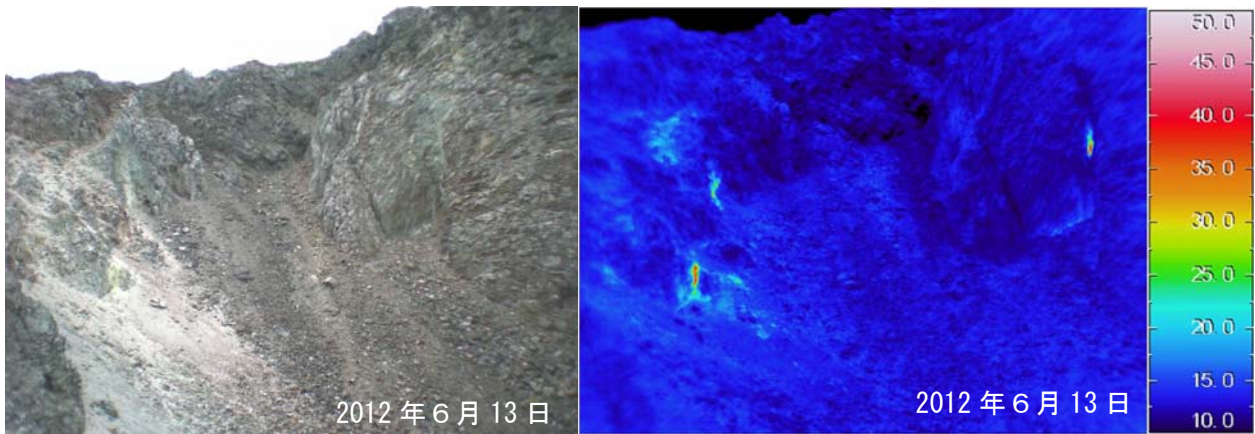


図4 アトサヌプリ 熊落し火口の地表面温度分布（図2の②より撮影）

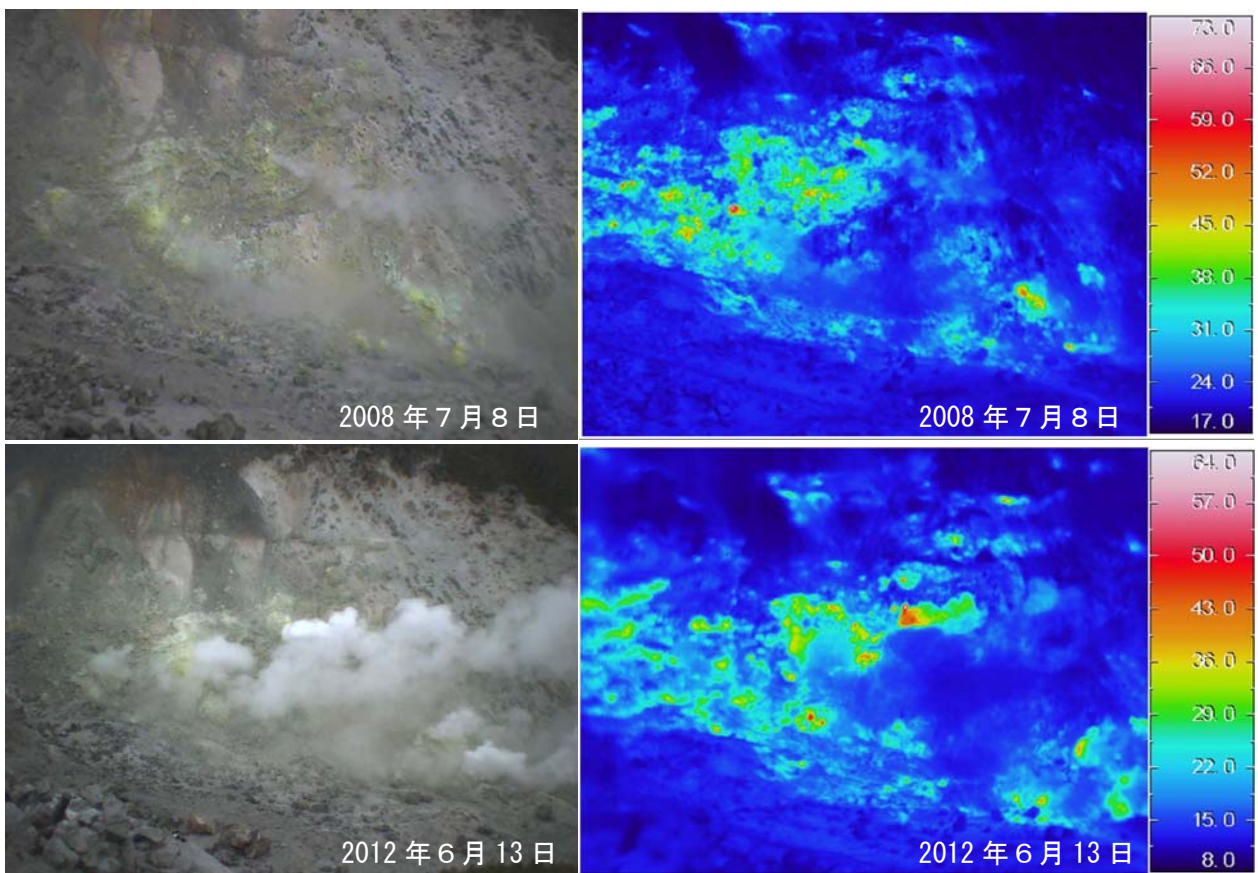


図5 アトサヌプリ F2噴気孔群の地表面温度分布（図2の③より撮影）

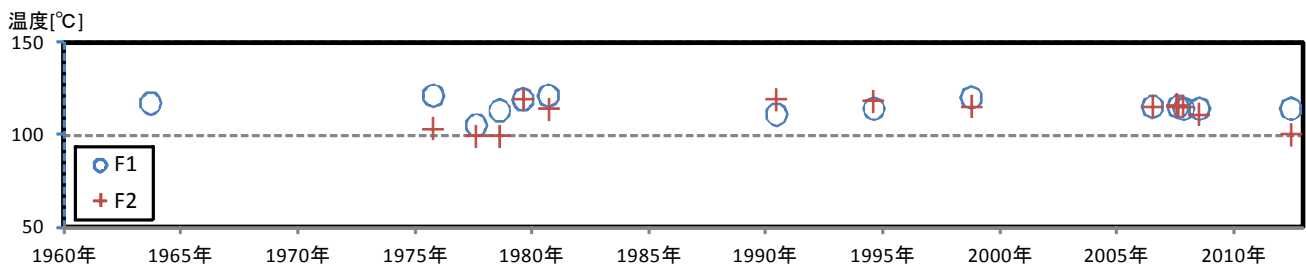


図6 アトサヌプリ F1・F2噴気孔群の噴気温度の推移（1963年～2012年）



図7 アトサヌプリ 山体北側の状況 (6月15日、北東山麓遠望カメラによる)

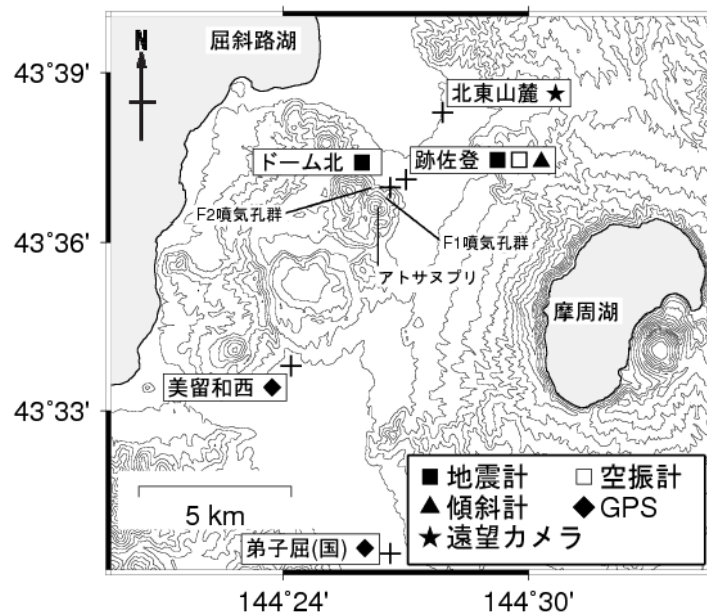


図8 アトサヌプリ 観測点配置図
 +は観測点の位置を示します
 気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています
 (国) : 国土地理院